

葉山町スポーツ推進審議会議事録

1	会議の名称	平成 31 年度第 1 回葉山町スポーツ推進審議会
2	開催日時	平成 31 年 4 月 26 日（金）15:10～17:10
3	開催場所	葉山町教育委員会会議室 2
4	審議等事項	協議事項 （１）葉山町スポーツ推進計画（案）の策定について（諮問） （２）アンケート調査について 報告事項 （１）平成 31（2019）年度スポーツ事業計画について
5	出席者名	審議会委員 鈴木志保子、田中晋、歌代光雄、矢嶋道文、益田孝彦 教育委員会 返町和久（教育長）、沼田茂昭（教育部長） 井上尚美、吉田直弘、宮野晃輔
6	公開又は非公開の別	☒ 公開・一部非公開・非公開
7	非公開の理由	該当無し
8	傍聴人数	0 人（定員 5 人）
9	所管課	教育委員会教育部生涯学習課
10	議事録（発言の内容）	別紙のとおり

葉山町スポーツ推進審議会委嘱状交付式
平成 31 年度第 1 回葉山町スポーツ推進審議会 議事録

日時 平成 31 年 4 月 26 日（金）15:10～17:10
開催場所 保育園・教育総合センター 2 階 会議室 2
出席者 ○委員
（出席）鈴木委員、歌代委員、田中委員、矢嶋委員、益田委員
○事務局
返町教育長、沼田教育部長、井上生涯学習課長、吉田主任、宮野主事補
議事日程 葉山町スポーツ推進審議会委員委嘱状交付式
1 委嘱状交付式

平成 31 年度第 1 回葉山町スポーツ推進審議会

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員及び職員紹介
- 4 会長、副会長選出
- 5 議題
 - （1）協議事項
 - ①葉山町スポーツ推進計画（案）の策定について（諮問）
 - ②アンケート調査について
 - （2）報告事項
 - ①平成 31 年度スポーツ事業計画について
 - ②その他
- 6 閉会

配布資料 資料一覧

- ・ 審議会委員・事務局名簿
- ・（資料 1） 葉山町スポーツ推進審議会規則
- ・（資料 2） 諮問書
- ・（資料 2－2） 葉山町スポーツ推進計画素案
- ・（資料 2－3） 葉山町スポーツ推進計画策定スケジュール
- ・（資料 3） 葉山町スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査について
- ・（資料 3－2） 町民の体力・スポーツに関する調査
- ・（資料 4） 平成 31 年度スポーツ事業計画

(委嘱状交付式)

事務局 葉山町スポーツ推進審議会委嘱状交付式を開催させていただきます。

本日の司会進行を務めます生涯学習課長の井上と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、葉山町スポーツ推進審議会委員の委嘱状を交付させていただきます。

委員の皆様は、お名前をお呼びいたしますので、その場でご起立をお願いいたします。

委嘱状交付（５名）

事務局 ありがとうございました。以上で委嘱状交付式を終わります。

(開会)

事務局 ただいまより平成 31 年度第 1 回葉山町スポーツ推進審議会を開催させていただきます。本日の会議は、葉山町スポーツ推進審議会規則第 6 条第 2 項の規定により、審議会委員の過半数が出席しておりますので、本審議会は成立していることを報告いたします。

はじめにお配りしております資料の確認をさせていただきます。

(資料確認)

なお、本会議の記録として、音声録音と写真の撮影をさせていただきますので、予めご了承ください。

(教育長あいさつ)

教育長 これからの 2 年間で様々なこととお話しすることになると思いますが、ぜひご協力、ご意見よろしくお願いいたします。

鈴木委員については、初対面ですね。どうぞよろしくお願いいたします。他の委員の皆様については、いろいろな場面でお会いしている仲でありまして、今回また、皆様方のお力をお借りしてということになります。大変恐縮ですが、ある意味では実情をわかっていただいている方に多くお集まりいただき、スポーツ推進に関わる審議をしていただくことになるのかなと思います。ぜひスポーツ推進計画策定を中心にして、その他様々なスポーツ振興に関わるご審議をお願いしたいと思います。

教育委員会では、平成 24 年 5 月から葉山町教育振興基本計画というのを施行しております。また、遡ること 2 年前の平成 29 年 5 月から本町においては歴史を始め、学校教育のみならず、生涯学習分野に関しても、体系的な施策というものを整理していきたいということで第 2 期の基本計画を作りました。その中でスポーツ推進計画を策定するということを明記しまして、それ以来、準備を積み重ね、準備が整ったところで、本日皆様方にお集まりいただきました。この後、また改めて推進計画の策定に

ついて諮問させていただきます。

昨年の 12 月には、附属機関の設置に関する条例を改正し、教育委員会にスポーツ推進審議会を設置いたしました。

そこに向けて、教育委員会では、議会提出のための承認を行い、条例が可決後は運営規則を定め、委員の委嘱と、毎月のようにスポーツ推進審議会の設置、準備に関わってきました。

また、中身の問題としては、スポーツ推進計画（素案）というものを事務局で作成し、このスポーツ推進審議会に対してお諮りをするということで進めてまいりました。

スポーツの推進については、従来の学校体育や生涯スポーツのほか、健康寿命など、新たな要素や多面的な考えで、総合的かつ計画的に物事を考えていく時代に入ってきました。

この町の実情に関して言うと、施設面で大きな制約があります。しかし、一方では、この地にはスポーツに限りませんが、多くの人たちが人的支援として色々な町内の活動に関わっていただいています。文化面でもスポーツ面でも本当に、そういう人たちの力を活用しながら、このスポーツ分野、体育分野、あるいは健康で文化的な生活を維持する側面に関しても、この町の施策が推し進められていくといいなということを思っています。

また、実情に即してということなので、なかなか将来に向かって断言することは難しいということはあると思いますが、よくお分かりの方々も大勢いらっしゃいますので、そういうことを踏まえて提言に関わるようなご審議をいただければありがたいと思っています。

施設面で言いますと、町全体の公共施設の総合再建整備「みんなの公共施設みらいプロジェクト」において、長期的に公共施設を建て直していくことを考えておりますが、その中で学校施設の問題がとて大きく、町全体の 3 分の 2 近くが学校施設でありまして、それを早急に直さなくてはならず、大人は後回しではないのですが、優先すべき課題が多いのが現状です。

しかし、一方では、学校施設を活用して、この町の社会スポーツが行われている現状もあり、学校施設の改修等がそのまま社会スポーツに関連することにもなります。

教育委員会においては、スポーツ推進計画のほか、図書館あり方検討委員会を立ち上げることも決まっております。

また、教育委員会の他の 2 つの課においても、将来を見据えたうえで、今何をしていかななくてはならないのか、体系的に考えていく姿勢というのは、共通の認識であり、この機運に乗ってこの計画も大いに進めていただければありがたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

(委員及び職員紹介)

各々の委員及び職員が自己紹介を行った。

(会長、副会長の選出)

自薦なく、他薦により鈴木委員を会長、田中委員を副会長とすることを満場一致で承認した。

(会長就任あいさつ)

会 長 初めてお会いする皆様の中で、会長をしっかりと進めさせていただきます。
どうぞよろしくお願いいたします。

(協議事項(1) 葉山町スポーツ推進計画(案)の策定について(諮問))

事務局 教育長から諮問書をお渡しします。会長はご起立をお願いいたします。

(教育長 諮問書読み上げ)

事務局 教育長並びに教育部長は、次の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

(教育長、教育部長退席)

(傍聴要綱(案)を配布)

事務局より傍聴要綱(案)に基づき説明が行われた。また、本会議の会議録の内容について、今回の審議会で承認を得ることについて、満場一致で承認された。

会 長 それでは、葉山町スポーツ推進計画(素案)について、事務局から説明をお願いします。

(事務局より資料2-2、資料2-3に基づき説明が行われた。)

(質疑応答)

会 長 基本理念では、「町民のだれもがいつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現」ということですが、体力向上などは関係してこないのでしょうか。町として、スポーツをしたい人を増やしたいのか、健康増進のためを含めた歩くことでもよいとするのか。スポーツ、スポーツと言い過ぎると、できない人や高齢の方は自分のことではなくなってしまう。解説を入れて、自分の体を動かすということも葉山ではスポーツとして考えますとか、やさしいイメージを作るのは

いかがでしょうか。

委 員 スポーツといっても、ソフトからハードまで色々なレベルがあります。私としては、後ろ向きな人には、まずは運動から始めてもらい、最後にスポーツっていうイメージを持っています。

委 員 町内でマラソン大会を実施していますが、町からは町民相互の健康を増進させてほしいとアドバイスをもらっています。これは大事なことだと思ってます。

委 員 みんなで運動をやろうよという健康志向の方が強いと思いますので、そちらに持って行った方がいいような気がします。

委 員 学校でいえば、スポーツで通る場合もあると思いますが、全体の町民の中では、体力向上みたいな意識での運動っていう部分で親しむ人たちが多い実情を踏まえると、ここでスポーツという表現を、いくつかは運動っていう表現に変えていった方が基本理念として町民の実態に合致しそうな気がします。ただ、聞きなれない言葉になってしまう、例えば、このスポーツを全部運動に置き換えて読んでみると、生涯運動活動とは言わないみたいに、通りが悪くなるっていう問題があって。

会 長 生涯スポーツは、社会的にワンワードになってきていますから、そこを町から大きく変換する必要はないと思います。生涯スポーツのキーワードはそのまま活かしつつ、ちょっと工夫をしていければと思います。

委 員 体づくりのような言葉は通りますよね。体力向上ではだめでしょうかね。

会 長 体力向上では、頑張らなくてはならないイメージを持たれやすいですね。本当は、歩くことだけでも体力向上なのですけどね。

委 員 健康な体をつくるはいかがでしょうか。

会 長 健康という言葉も、例えば何かしらの病気を持っていて、薬でコントロールされている方の中には、自分は健康じゃないからこの計画には対象にならないと考える方もいらっしゃる。これは健康な人用の計画だっていう方もいらっしゃるの。

委 員 このスポーツに親しめるっていうスポーツを取ったらいかがでしょうか。生涯スポーツってワンワードになっているので、この生涯っていうイメージは、ビギナーから

トップレベルまで含んでいますよね。加齢とともにトップレベルまで維持できなくても、好きなことだから続けられるっていう。健康とか運動って置き換えたくないっていう気持ちもあります。

会 長 ターゲットによって言葉選びが違ってきますよね。小学生、中学生、高校生には頑張れる自分とか、今以上を目指すことが重要だと思ってもらいたいですし。中年の方たちには、自分の一番の優先順位を考えることはあるかもしれないけど、自分の体のためにスポーツをしてほしいと思います。シニアの方たちにもスポーツの習慣化を考えてほしいです。

委 員 町民に対して発信する計画なわけなので、全部を網羅できる言葉を選ぶ必要があると思います。例えば、町民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも体づくりや体力維持に親しめる生涯スポーツ社会の実現なんてどうでしょうか。

事務局 町民の誰もが、いつでも楽しく、どこでも気軽に、いつまでも続けられる生涯スポーツ社会の実現というのはいかがでしょうか。

会 長 生涯スポーツをキーワードにするのであれば、事務局案が良いと思います。体づくりや体力と言ってしまうと、シニアの人で持病を持っている方々もいらっしゃるのです。事務局案がいいのかと思うのですが、いかがでしょうか。

委 員 良いと思います。町民の誰もが、いつでも楽しく、どこでも気軽に、いつまでも親しめる生涯スポーツ社会の実現でしたよね。

事務局 いつまでも続けられると提案させていただきましたが。

会 長 いつまでも続けられるか、親しめるような状況にするか、どこに掛けるかですね。この基本目標や基本施策に繋がっていく訳ですね。そうしたら、いつまでも親しめる生涯スポーツ社会の実現に置いてみてもよろしいでしょうか。

基本理念が、町民の誰もが、いつでも楽しく、どこでも気軽に、いつまでも親しめる生涯スポーツ社会の実現とし、基本目標に、生涯スポーツ活動の推進、スポーツ活動の環境づくりの推進、情報の充実とします。可能であれば、2つ目のスポーツ活動を、運動・スポーツ活動にさせていただいて。そうすると、ウォーキングなども入ってきますからね。

情報の充実というのは、こんなことがやれますよとか、こういう施設が使えますよとか、こんな風なイベントがやりますよとかそういう情報の充実ですかね。

事務局 想定しているのはその通りです。町民が望んだ情報がすぐに手に取って分かるようなものを考えていきたいと考えています。

委員 2つ目は、運動・スポーツ活動のっていう考え方もありますし、生涯スポーツ活動の環境づくりの推進でもどうでしょうか。

会長 確かにそうですね。それでしたら運動を消して、生涯を入れましょう。生涯スポーツ活動の環境づくりの推進。又は、生涯スポーツ活動のための環境づくりですかね。3つ目は情報提供の充実ですかね。

事務局 町からの発信のほか、町全体として、運動・スポーツがわかるような、互いにわかるような仕組みづくりができないかということで、記載させていただきました。

会長 相互があるってことですね。
アンケートについては、これから考えていくのでしょうか。また、基本施策の9つは、これから作っていく部分ですか。

事務局 アンケートや基本施策は県の計画を参考に、町独自の事業を落とし込むような内容で作成しています。

会長 アンケート結果が上がってきってから基本施策の部分を考えるべきか、又は、今の段階で考えてそこからアンケートを作成していくか、どちらでしょうか。

事務局 アンケート調査は7月に実施する予定ですので、アンケートを先行して行えればと考えています。

会長 基本施策の部分が違っていると、アンケートで質問に関係するので、まずは基本施策を確認させていただきます。

生涯スポーツ活動の推進というところがそれぞれ年代ごとで分かれた4つの柱になっています。1つ目は、生まれてから小学生に上がるまでの乳幼児期の運動、2つ目は、小学生から高校生に関しての青年期。3つ目が18歳～65歳未満くらいまでの成人期。4つ目が高齢期のスポーツ活動と健康寿命の延伸ということで、構成されていますが、この期で分けるのはよろしいでしょうか。

(委員了承)

会 長 続いて、生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進について、スポーツ活動の環境整備、競技スポーツの推進、地域コミュニケーションの活性化、障害者スポーツの推進となっています。葉山町には、総合型地域スポーツクラブはありますか。

事務局 ありません。

委 員 体育協会として、取組んでいけるか今年度中に結論を出そうと思っています。

会 長 継続出来ない総合型地域スポーツクラブの多くの事例は、お金の問題で、民間のスポーツクラブを運営する感覚でやられると続くと思います。

障がい者スポーツについては、パラスポーツの選手たちの育成を挙げているのでしょうか。それとも、障がい者がいろいろなところに参画していく環境を作ることが目的なののでしょうか。いずれにしても、障がい者を別個にするのではなくて、障がい者が動きやすい施設の整備として、スポーツ活動の施設の整備の中に入れるとか、散りばめた方が良いと思います。

情報の部分も相互間というのが、このままだと表現されていないので、相互でちょっと声掛ければ、町内が豊かだからこそすぐに行き渡る情報とか、吸い上げられる情報とか、葉山町ならではの言葉でここは表現した方がいいかもしれませんね。

環境づくりのところについては、葉山町として出来ることと、あとちょっと夢のあるところを吟味した方が良いと思います。

可能であれば、スポーツ推進委員の人材の育成と活躍の項目があっても良いのかなとも思います。

競技スポーツの推進は、町をあげて応援するなどのプロ化や実業団の話でしょうか。横浜市だと、横浜F Cとかマリノスとかみんなで支援していこうとしていしますが、葉山町ではアンダーからいい選手を育てて、全国レベルにという意味の競技力ですかね。

委 員 体育協会は、今は20を超える競技団体ですか。

委 員 実働19団体です。

委 員 必ずしも自前でトップ選手を育てるポテンシャルを持っているわけではないですよ。

委 員 ヨットや空手などは全日本に選手を輩出しています。

委 員 全国を目指す道を選ぶのであれば、自分で行動して、クラブを選ぶことになるのでしょうか。

会 長 先ほどの障がい者スポーツについてですが、葉山町に障がい者の方はどのくらいいるのでしょうか。

事務局 葉山町障がい者福祉計画によると、平成 29 年 4 月 1 日現在、身体障がい者が 923 人、知的障がい者が 157 人、精神障がい者が 197 人（平成 29 年 3 月 31 日現在）となっています。

会 長 障がい者スポーツは、社会福祉協議会の方たちと一緒に、その方々たちとネットワークを作って、また、ボランティアを募って一緒にやってくれる人を養成するなど、葉山町としてできることをやった方が現実的ですね。

生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進は、県を参考ではなく葉山町用でやった方がよいと思います。

この基本施策に関しては、もう一回事務局で整理していただいて、基本理念が「町民のだれもが、いつでも楽しく、どこでも気軽に、いつまでも親しめる生涯スポーツ社会の実現」にして、基本目標が「生涯スポーツ活動の推進」、「生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進」、「情報の充実」の 3 本柱で、その中身に関しては、アンケート調査が出たところで、もう一回ここを見ていきたいと思います。

そこまでのところで、次回のときに素案をもう一回委員の皆さんで検討していただくといいと思います。

（協議事項（2）アンケート調査について）

会 長 それでは、アンケート調査について、事務局から説明をお願いします。

（事務局より資料 3、資料 3－2 基づき説明が行われた。）

会 長 確認ですが、このアンケート結果は、この計画の中のどこに反映させるのでしょうか。県と比較をするアンケートなのか、計画に反映するアンケートなのかをはっきりさせた方がよいと思います。例えば、子どもたちに関しての部分がアンケートにはないので、それでしたら、PTA や学校にお願いして、子どもの部分だけ抽出してアンケートをお願いするなどしないと、無作為抽出で年齢層が偏ってしまったら、何のた

めにアンケート調査を行ったのかということになりかねないと感じました。

葉山町民の人口は何人ですか。

事務局 約 33,000 人です。

会 長 無作為抽出ですと、例えば、結果的に 20 代は反映されて、50 代は反映されない、又は逆もあり得るってことでしょうか。

事務局 想定しているのは、字で分けたやり方で、各年齢層で人口比率に応じて抽出することを予定しています。年齢別で抽出した方が良いとのことでしょうか。

会 長 例えば、20 代に多く回答してほしいや、60 代に回答してほしいなど、こちらで決めていいと思います。20 代や 30 代の人たちの考えを多く聞きたいときは、小中学校にお願いしてデータを集めるなど、色々やり方はあると思います。

今のやり方ですと、蓋を開けてみたら 20 代が極端に少ないなども起こり得ると思います。

県と比較して、町民は県と比べてこれだけ意識が高かった、低かったとするのも一つの方法ですが、本質的に聞きたいこととしては、この計画の中身を充実させるために、9つの基本施策の中で実行出来ること、出来ないことを迷っているところに、このアンケート結果があって、エビデンスが取れることが重要かと思います。

委 員 先ほど、県の調査ではあったスポーツ観戦について、今回の調査では削除したと話がありましたが、スポーツへの関心から大事なような気もしましたが、なぜ削除したかももう一度説明をお願いしますか。

事務局 スポーツ観戦については、町内において全国規模で開催できる施設がほとんどない中、地域活性化による観光面も含め町の発展につながるかどうかで判断させていただきました。

委 員 それはそうですが。私はオリンピックを観たいですけど。

会 長 意識を聞くという観点であれば残しますよね。観戦から町民はスポーツに興味のない集団だったというものなのか、スポーツの意識の高い町民なのかを位置付けるためには、割と大切なのですけどね。

また、どこでスポーツを行っているかについても、結構、町外のスポーツクラブに加入している人もいますよね、葉山にないスポーツという理由で。その項目も入れた

方がよいのかなと思います。

事務局　日頃スポーツ活動をしている場所はどこか、の設問を追加して確認したいと考えておりました。

会　長　それは本人のことで、子どものことを聞いた設問ではないですね。子どもの付き添いで本人も一緒にやっていることもあります。どこの施設で、どんなクラブや団体、それが総合型地域スポーツクラブなのかなどを聞けるといいですね。

事務局　短い時間の中、ご意見をいただきありがとうございます。時間も押しているので、会長には大変申し訳ありませんが、この件は会長とご相談させていただき、改めて委員の皆様へ案をお示しさせていただきたいと考えております。

（アンケート調査項目等については、会長と事務局とで検討することです承を得る。）

（議題：報告事項（１）平成 31（2019）年度スポーツ事業計画について）

会　長　平成 31（2019）年度スポーツ事業計画について、事務局から説明をお願いします。

（事務局より資料 4 に基づき説明された）

会　長　ご質問がないようでしたら、以上で本日予定されていた事項について、一通り終了となります。議事の進行にご協力いただきありがとうございます。

（閉会）

事務局　長時間にわたってご協議いただき、ありがとうございました。これにて平成 31 年度第 1 回葉山町スポーツ推進審議会を閉会いたします。